

レポート番号：#635(22c)

UXベンチマーク評価 Renault Megane E-Tech



UXベンチマーク
評価シリーズ

車両への採用技術が増加する中、搭載システムをユーザーがどのように評価しているかを理解しておくことが非常に重要です。車内UX（ユーザーエクスペリエンス）はブランドの差別化において重要な要素であるだけでなく、長期的な顧客ロイヤルティの確立にも影響を及ぼします。

今回、SBD AutomotiveのUX（ユーザーエクスペリエンス）専門チームでは、Renault MeganeのHMI UX評価を実施しました。MeganeのOpenRリンクシステムには驚くべき点が2つ挙げられます。第1に、新しいEVプラットフォームに搭載された新システムであるにも関わらず、相対的に高いレベルの安定性を示していること、第2に、Renaultのシステムとしては多くの業界大手と比べ際立って高いスコアを獲得したことです。大型の画面、好印象のユーザーエクスペリエンス、フラットなメニュー構成、軽快な操作性、快適な機能性を備えており、全般的にはハイエンドタブレットのインターフェースのように洗練されたエクスペリエンスをほぼそのまま自動車に受け継ぐことに成功したプレミアムシステムであるという印象を受けます。

システム全体はよく考え抜かれ、快適に使用することができます。その結果、全般的な印象に好影響を与えています。



目次

- 調査の概要
- はじめに
- 機能と特徴
- 実装品質
- 知覚品質
- ADAS
- インフォテインメント
- ナビ
- 音声認識
- コネクテッド機能
- 利便性

関連レポート

UXベンチマーク評価シリーズ

レポート番号：635

本レポートシリーズでは、インフォテインメント、ADAS、デジタルキー、VPAなどのHMIのUXや利便性を実車評価する。

2022年度の評価対象車種/システム：Lucid Air、Rivian R1T、Renault Megane E-Tech（本書）、Xpeng P5、GMC Hummer EV、Lexus NX

対象市場

- 欧州
- 日本
- 北米
- グローバル
- 中国
- その他

レポート発行頻度

- 毎年更新
- 半年更新
- 四半期更新
- 毎月更新
- 年間6車種

レポート形態

- PDF
- PowerPoint
- Excel
- Online

ページ数

- 150+

SBD UXベンチマーク評価シリーズ

本評価シリーズでは、以下の領域のスコア付けと分析を行っています

> 機能と特徴

ユーザーが期待している機能、必要としている機能、問題を解決する機能をソリューションが提供しているか（Wowファクターを提供しているか）評価する。

> ユーザビリティ

提供される機能を簡単に習得・使用できるか評価する。人間工学、視認性、ユーザビリティの特性の各領域とシステムにおける各種機能の実装状況を考察する。

> 信頼性／安定性

反復的なユーザビリティと、ユーザーが毎回同じような使用感（プラスのエクスペリエンス）を得られるかについて評価する。

> 知覚品質

HMIコンポーネントの品質がどのように知覚され、それが全体的なユーザーエクスペリエンスにどのように影響するかを評価する。

SBDカスタマーポータル

ご契約いただいたレポートへはお客様専用ポータルサイトからアクセスいただけます。

ポータルサイトのアカウントはご契約企業ごとに作成され、ご契約企業に所属する方であれば登録ユーザー数に制限はございません。

ご契約状況の確認や、ポータルサイトへの新規ユーザー登録をご希望の場合は、SBD Automotive ジャパンまでお問い合わせください。

100+ Reports published per year
50k+ Slides of insights, forecasts & data
4,000+ # of auto professionals who access our reports



本書に関するお問合せ・お見積り依頼

「UXベンチマーク評価 – Renault Megane E-Tech」

お問合せ・お見積り依頼



サンプルレポートの無料ダウンロード



SBD Renault Megane E-Tech UX ベンチマーク評価

発行年月：2022年9月
レポート番号：635-22(22c)